

the people

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する 市民がいる

2022年度スタート！

新年度がスタートしました。

2022年度は、ザ・ピープルにとって大きな転換点になるものと見込まれています。コロナ禍に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う世界的な影響という予想だにしない暴風雨に曝されています。しかし、一方にはSDGsに対する認識の広がりという追い風もあるようです。ザ・ピープルのみならず、市民活動の前途には様々な困難が予想されています。

ザ・ピープルでは、「住民主体のまちをつくる」という想いを共有する仲間たちと共に、進んでいきたいと思えます。皆様には、是非とも会員としてお力添えくださいますようお願い申し上げます。



倉庫に新たな息吹を！

ザ・ピープルでは、いわき市内外から集められた古着を、市内3ヶ所の倉庫でストック、選別、搬出などの作業を行っています。いずれの倉庫も小名浜地区内にあり、できるだけ移動のロスを少なくするよう図っています。

その内、諏訪町にある元材木店の倉庫を借用している施設は、これまで沢山の古着に埋もれており、団体としてはこの古着の山が大きな課題として認識されてきました。しかし、昨年度この古着の山の様子に興味を持った若者たちが、新たな活用法があるのではないかと、アイデアを出してくれました。

そして生まれたのが、今世界的に人気のある韓国のアイドルグループB●Sのミュージックビデオのワンシーンを真似たポスターです。4月23日にはこのポスターで呼び掛けた古着仕分けイベントも開催され、20名ほどのボランティアが集まり、この古着の山との格闘に挑みました。

今後も、この倉庫を新たな価値を生み出す場として活用していくことが検討されています。倉庫に新たな息吹を吹き込みたいと思えます。なお、この取組みは今年度「いわき市まち未来創造支援事業」の助成を受けて進められます。



▲イベント案内ポスターを掲げる



▲若者たちが集う古着の倉庫

the people (NPO法人ザ・ピープル)

令和4年(2022年)4月号

発行:特定非営利活動法人 ザ・ピープル

代表者:吉田 恵美子

所在地:〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6

TEL:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298

URL:http://npo-thepeople.com/

E-mail:the-people@email.plala.or.jp

onahama.volunteer@gmail.com



イオンモール小名浜とのコラボレーション

イオンモール小名浜は、ザ・ピープルにとってはお膝元の大規模商業施設です。そして、これまでも食品や衣類の回収の呼びかけに場の提供を頂いてきました。そのイオンモールとのコラボレーションが、4月22日からの3日間、大きく前進しました。アースデイの展示コーナーの一角で、ザ・ピープルによる食品と衣類の回収と共に、実際にピープルで回収された古着の内状態の良いものを持ち込んでチャリティバザーもさせて頂いたのです。

会場のマリンコートには、沢山の方が古着や食品を持ち込んで、掘り出し物はないかと並べられた古着を見て下さいました。中には、「いつもは湯本のお店でお世話になっているんです。今日の服もピープルさんで購入したもので…」とお話下さる方もいて、活動の広がりを実感できる3日間となりました。



▲チャリティバザー会場の様子▲

地元金融機関による支援

地元の金融機関であるいわき信用組合様では、昨年9月から期間限定でSDGs応援型の定期預金という金融商品を販売。定期預金に預金することで、その預金額に応じた支援を地域で生活困窮に対して支援活動を行う市民団体への支援を行うことを約束していました。

そして、3月24日、本会と、NPO法人共創のまちサポートの2団体に対して、それぞれ50万円の寄附という形での支援を行って下さいました。地元の企業、それも金融機関からの応援は、市民団体にとって大きな後ろ盾になるものです。ありがとうございました。

NPOに50万円寄付

いわき信 組 ザ・ピープル、共創のまちサポート



いわき信組(株) 定期預金50万円(※)に振り込んだこと、を記念して、本会と共創のまちサポートの2団体に対して、それぞれ50万円の寄附という形での支援を行って下さいました。地元の企業、それも金融機関からの応援は、市民団体にとって大きな後ろ盾になるものです。ありがとうございました。

▲掲載された新聞記事